



発行／さくら・市民ネットワーク
発行責任者／山部佳子

〒285-0837 千葉県佐倉市王子台 3-5-13

TEL 043-462-0618 FAX 043-489-0797 e-mail news@sakura-siminnet.com

ホームページ <http://www.sakura-siminnet.com>

第155号

2026年2月18日発行



さくらネットギャラリー「佐倉里山の花」写真展の前で

降下訓練始めの目的は「空挺部隊の1年の降下安全を祈願する」ことでしたが、「同盟国・同志国等参加国の空挺部隊と連携強化を図る」が目的に付け加えられ、年々参加国が増加し、今年は自衛隊員200人と14力国軍250人が参加しました。

これは、多国籍軍との軍事訓練を市民の目の前でショーのように

降下訓練の目的は

毎年1月、習志野自衛隊「第一空挺団」はパラシュートの降下訓練始めを行います。佐倉市の上空もルート上にあります。習志野演習場は習志野市、船橋市、八千代市に接する人口密集地であり、国道296号にも隣接しているため、事故故につながる危険性があります。今年、本番の1月11日は強風のため中止となりましたが、9日の予行訓練は実施されました。

展開し、抵抗感をなくすことが真の目的ではないでしょうか。

100万人の生活圏で

周囲100万人の市民が暮らす場所で降下訓練が行われているのは、習志野演習場だけです。しかも、国内の降下演習場で最も狭く、隊員の場外への誤降下を繰り返している現状です。

これまでも、民家や高校のグラウンド、道路上に誤降下する事故が起きています。不慣れな他国軍の兵士であれば、不測の事態も危惧されます。

訓練のため、大型ヘリ、ジェット輸送機、プロペラ輸送機が低空で飛行するため、住民は騒音被害に苦しめられ、迫撃砲などを積みこんだ輸送機の墜落の危険にさらされています。

子どもたちの未来へ

高市政権になって、2025年度防衛予算と関連費総額は、補正予算も入れると約11兆円。過去最

子どもたちに平和な未来を

大になりました。先制攻撃ができる軍事費も多く含まれています。戦争への準備を急いでいると思えません。戦争になれば、国民生活はますます疲弊します。今こそ、対話による平和外交へと軸足を移すべきです。

戦争する国ではなく、平和な未来を子どもたちに手渡すために、声をあげていきま



市議
伊藤とし子



津田沼駅頭での自衛隊降下訓練抗議集会にて1/10

衆議院選挙で呼びかけました。 平和と人権を守る候補者に1票を！



今回の衆議院選挙では、台湾有事発言、政治とカネ、統一教会との癒着など重要な問題が争点とならず、首相の信任投票の様相を呈しました。首相は解散記者会見で、中国との緊張を前提に「戦争が始まれば、ウクライナのように長期戦になる。無人機の大量運用など、防衛力の抜本的強化も急ぐ」と、戦争を想定した発言をしました。「戦争ができる国」から「戦争をする国」へと一歩踏み出した重大な発言です。市民ネットワーク千葉県では、「平和と命を守る候補者に1票を！差別と分断を煽る候補者にはNOを！」と有権者に呼びかけ、大きな反響を呼びました。

キャリア教育に自衛隊？

キャリア教育とは？

小中学校では、将来の自分を考えるために、仕事の体験などのキャリア教育を推進しています。その一環として、さまざまな職業の人から、仕事の内容や、その職業に就くためには何をすればよいかなどの話を聞く授業があります。

ある中学校では、自衛官を学校に招き、自衛隊について学ぶ授業が実施されています。

なぜ自衛隊？

自衛隊は国際法上、軍隊として

扱われ、隊員は戦闘員とみなされます。自らの命を賭ける「賭命義務」があり、服務ハンドブックでは「規律の基礎を戦闘に置く」とあります。

日本は近年、先制攻撃となる長射程ミサイルを配備し、首相は「台湾有事は存立危機事態であり、集団的自衛権の行使に当たる」と明言しました。日本が戦争に巻き込まれる可能性が飛躍的に高まっています。世界的にも紛争が絶えず、対話による外交より、武力による威圧が幅を利かせています。

このような現状では、もはや専守防衛は空文化し、自衛隊が海外

の戦場に送られ、命の危険が伴うことも視野に入ってきます。

子どもたちへの影響は？

自衛隊は若い隊員を採用できなくなっています。2024年度末で、最下級の充足率は67・8%で人手不足が深刻化しています。

前述の中学校では、自衛隊の災害時救援を強調した授業が行われており、戦闘員としての本質を知らず、憧れを持つ子どももいるかもしれません。

キャリア教育に自衛隊を加えることは適切でないと考え、今後、見直すよう求めていきます。



どうなる？ 介護保険制度



市議 五十嵐ともみ

佐倉市のサービスは…

2000年から始まった介護保険制度。国は3年ごとの制度改定のたびに持続可能性を掲げて、サービス縮小と利用者の負担増を繰り返してきました。その結果、「保険あって、介護なし」と言われるほどになっています。

2024年の介護報酬の改定で、全体としては1・59%の引き上げでしたが、訪問介護だけは引き下げが強行されました。

訪問介護事業所の倒産や休業業・解散を合わせると、2024年度は全国で529件と過去最多。

佐倉市でも、事業継続が困難になった事業所は3件、廃止が2件。市は廃止となった場合、利用者のサービスが滞ることがないよう、確実に引継ぎを求めていることです。

また、特養などの事業者は報酬が引き上げられたとはいえ、わずかにすぎず、物価高騰や人件費増の厳しい運営が続いています。

さらに、人材の確保はこの介護事業所も大変ですが、特養などの入所施設では、高額な紹介料のかかる人材派遣会社などを利用することも多く、経営が圧迫されています。市内の業者懇談会でも同様の声が上がっています。

国の次期改定の狙いは

現在、国は2027年度開始の制度改定について、前回の改定で積み残した「サービス利用料2割負担の対象拡大、ケアプランの利用者負担、要介護1・2の保険給付外し」などを審議会で検討しています。どれも利用者に負担を強いる内容となっています。

その中で、特に利用料2割負担の対象を拡大し、2027年3月までに、なんとでも利用者負担を引き上げた

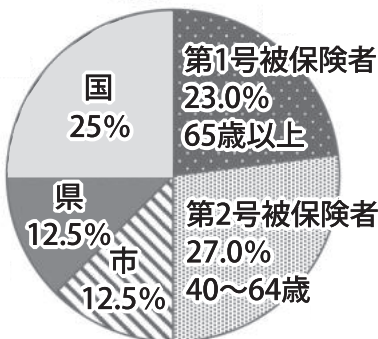
利用者も事業者も限界です

目論見です。しかし、利用者は改定のたびに介護保険料が値上がりし続け、さらに利用料が引き上げられれば、サービスの利用控えや介護家族の離職など、深刻な影響が及ぶことは必至です。現在、佐倉市の介護保険料も基準月額額は5300円で、前回より350円値上げされました。

国は、住み慣れた地域で生活できる地域包括ケアを推進していますが、その要となる訪問介護が危機的な状況です。利用者は物価高騰の中で、保険料や利用料の負担がさらに重くなり、今回の改定は、文字通り「保険あって、介護なし」を進めるものです。

介護保険制度の財源は、国、県、市、65歳以上と40歳～64歳の保険料で構成されています（左図参照）。これ以上保険料や利用者の負担を拡大せず、事業者の運営を安定的にするためには、国の負担割合を拡大することこそ必要です。

介護保険の財源構成
居宅サービス分等



施設の場合の公費負担は、国 20%、都道府県 17.5%、市町村 12.5%になります。

移動図書館「新さくらおぐるま号」

市議 松島こずえ

移動図書館「さくらおぐるま号」は、老朽化のため、新しい車両を購入し、昨年4月から運行しています。以前の車両より小型になったため、搭載冊数は減りましたが、その分、小回りが利くので、狭い場所でも行けるようになり、運行回数も増えると期待されていました。しかし、市はイベントなどでの活用に力を入れているとの理由で、回る場所も運行回数も減らしています。

免許を返納し、近くに図書館がない市民からは、巡回してほしいとの要望も出ています。「さくらおぐるま号」をもっと活用するよう、議会で求めました。

新さくらおぐるま号→



違いを超えて共に生きる社会へ

国籍や民族などが異なる人たちが、互いの違いを認め、尊重し合って地域の一員として共に生きる社会をつくっていくには、どんなことが必要でしょうか？

昨年の参院選で「日本人ファースト」が叫ばれ、今も外国人排斥の状況が続いています。さらに高市政権は、衆院選を前に入国・在留管理の厳格化を盛り込む基本方針をまとめました。

しかし、全国知事会は昨年11月に多文化共生を目指す共同宣言を公表しました。その中で「国は外国人を労働者と見ているが、地方自治体から見れば日本人と同じ生活者であり、地域住民である」と訴えています。

佐倉市では、生活に必要な日本語

を学べる講座、困りごとを相談できる生活相談などを国際交流基金に委託して実施。その他、学校への通訳派遣や講座で学んでいる人たちの交流会なども行われています。また、人権尊重のまちづくり指針で、基本理念に「文化の多様性を認め合い、ともに生きることが出来るまちづくり」を掲げています。

12月議会で、日本語講座の拡充や職員研修の実施など、多文化共生に向けて施策を充実するよう求めました。

平和使節団を沖縄に

佐倉市では毎年、市内の中学生代表が「佐倉平和使節団」として、被爆地である広島や長崎を訪問し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学んでいます。その後、現地で学んだことを、8月15日の平和式典や、各学校の全校集会などで報告しています。

29年間続けられてきた意義のある行事ですが、市民ネットワークでは、視察先に沖縄を加えてほしいと、毎年、要望してきました。

今の中学生と同じ年齢の若者たちの多くが命を落とした沖縄戦の歴史と実態を、ぜひ学んでほしいと考えます。

沖縄戦では、県内21の全ての中等学校・師範学校から生徒が戦場に動員され、女子は看護活動、男子は物資運びや伝令、橋や電話線の修復などを行いました。米軍戦車への自爆攻撃を命じられた生徒もいました。

有名な「ひめゆり部隊」は、看護要員240人のうち136人が死亡。当時の過酷な状況を、ひめゆり平和祈念資料館で見ることが出来ます。

また、佐喜真美術館で、丸木夫妻の大作「沖縄戦の図」を見て、館長のお話をぜひ聞いてほしい。戦争の悲惨さと平和の大切さが、若い心により鮮明に焼き付けられるはず。

（大野博美）

リチウムイオン電池にご注意!!



市議 松島こずえ

充電式小型家電の例

スマートフォン・携帯電話

ハンディ扇風機

電子タバコ・加熱式タバコ

ワイヤレスイヤホン

電気シェーバー

電動歯ブラシ

携帯ゲーム機

ゲームコントローラー

LEDライト

Ni-Cd ニカド電池

Ni-MH ニッケル水素電池

Li-ion リチウムイオン電池

小型充電式電池のリサイクルマーク

モバイルバッテリー

リチウムイオン電池は高温や衝撃が原因で発火する危険性があります。ごみ収集時やごみ処理施設で発火する事故が起これ、長期間ごみ処理施設が使用できなくなる事故が全国で相次いでいます。佐倉市でも混入していたリチウムイオン電池が原因



市の発火実験

リチウムイオン電池が使われている製品は、私たちの回りに多くあります。スマートフォンやタブレット、ノートパソコン、ワイヤレスイヤホン、ハンディ型の扇風機など、充電式で繰り返し使えるものに使われています。ごみとして一番多く市に持ち込まれるものは、モバイルバッテリーです。

回収はどのくらい？

現在、市役所内の廃棄物対策課と、一部の回収協力店で回収しています。しかし、回収協力店では回収できないものもあり、市役所まで遠い市民からは、不便との声がありました。

市民ネットワークは議会質問などで、リチウムイオン電池の危険性を市民に周知するよう、訴えてきました。その結果、4月から根郷公民館・臼井公民館・志津プラザの窓口で、回収を始め

講演会

「帰れ」ではなく、「ともに」～差別のない社会をめざして～

1月17日、在日3世の崔江以子（チェ・カンイジャ）さんのお話を伺いました。

2013年頃から始まった「ヘイトデモ」が2015年、崔さんの住む川崎市桜本に襲来。「朝鮮に帰れ」「殺せ、ゴキブリ、蛆虫」等、聞くに堪えないスピーチをしましたが、取り締まる根拠法が無い一方、路上で抗議する市民は「道交法違反」に当たるとして、警察は排除にかかりました。

初めヘイトの場を避けていた崔さんでしたが、子どもたちの「大人はなんで止めないんだ？ ルールがないな

ら作れよ！」という涙の訴えを聞き、「差別禁止条例を作ろう」と決意。保守系市議会を含め、一人ひとり丁寧に、条例の重要性を訴えました。

2016年、国の「ヘイトスピーチ解消法」（罰則なし）が成立。市条例づくりに向け署名集め等を行い、ついに2019年12月、最高50万円の罰金を伴う差別禁止条例が、川崎市議会の全会派一致で制定されました。

排外主義の強まる今、私たちの取るべき行動について、改めて勇気づけられました。（魚住公成）

千葉県選挙管理委員会に要請書を提出



要請書全文



市民ネットワーク千葉県では、1月23日、衆議院選挙の立候補者に、ヘイトスピーチ解消法や国際人権規約、千葉県多様性尊重条例などを周知し、差別的発言をしないよう、指導と監視をすることを要請しました。

オンライン学習会 報告 1/21

「戦争ができる国をめざす高市政権」

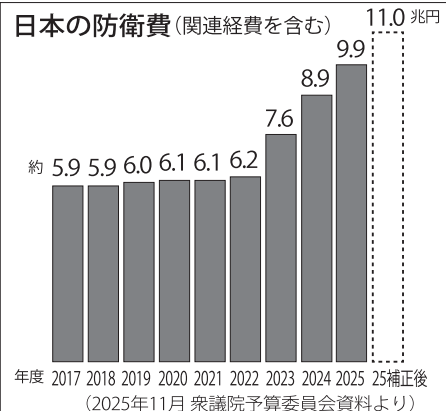
衆議院解散の2日前の学習会。講師（市民ネットワーク千葉県政策調査室 吉沢弘志）の話はいつもより熱を帯びていた。

台湾有事発言や裏金問題、統一教会との密接な関係から国民の目をそらす大義なき解散。対抗軸として急遽浮上した「中道改革連合」も、安保法制、原発再稼働、辺野古新基地建設のいずれも賛成であり、日本全体が大政翼賛会と化している。

また、高市首相の第二次世界大戦に関する歴史認識は、「少なくとも私は当事者とは言えない世代ですから、反省なんかしてませんし、反省を求められるいわれもない」という浅薄なもので、ドイツのヴァイツゼッカー大統領の1985年の演説「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となる」とは対照的だ。

中国を仮想敵国として防衛費も膨れ上がり、2026年度は11兆円を超える見通しとのこと。しかし、1978年に締結した日中平和友好条約には「全ての紛争を平和的手段により解決し、武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する」とあり、台湾有事は外交的にあり得ない。

有権者は政治家のウソを見破り、冷静に判断する能力をつけないと、強く感じる学習会だった。（大野博美）



市議会報告



伊藤とし子のひとりごと

孤独な子育てに悩んでいませんか



市議 伊藤とし子

赤ちゃん食堂

(NPO法人 Family Partner-Chill)

妊娠中から産後数カ月間はホルモンバランスが乱れ、環境の変化やストレスから、出産した母親の10%がうつを発症すると言われています。最悪のケースでは、母親による子どもの虐待死につながります。産後のママを支援している、県内唯一の赤ちゃん食堂（印旛郡栄町）を訪ねました。

産後うつで苦しんでいた、一日中赤ちゃんを二人きりで大

ママが、行政サービスを受けて回復し、職場復帰した事例を伺いました。そこで、佐倉市の行政サービスを議会質問しました。

佐倉市の子育て支援

妊娠から産後まで 切れ目のない対応

産後うつ、虐待予防対策として、母子健康手帳の申請時、妊娠8カ月の電話連絡時、産後2週間での健診や、1カ月健診で

きめ細かく対応しています。産後うつのリスクがあると判断した場合、保健師が支援に入ります。さらに、出産後4カ月頃までに行う乳児家庭全戸訪問では、赤ちゃんの健康状態だけでなく、育児困難や産後うつについて症状をチェックする「エジンバラ産後うつ病質問票」などを使い、リスクを早期発見して対応しています。昨年度は681件訪問し、継続支援は192件でした。

赤ちゃん食堂では離乳食を食べさせた後、親だけでゆっくりと食事をしながらいろいろな話ができて、先輩ママに相談したり、客観的に子どもを見守る時間が取れます。

また、母親のSOSをいち早くキャッチし、行政につなぐ役割も担っています。現に産後うつで夫に付き添われて参加した



心配事があれば 子ども家庭センターへ

妊娠や出産への悩み・不安がある、子どもの発達・発育の遅れが気になる、育児をしたくない、こどもがかわいいと思えない、などの悩みがある場合、「子ども家庭センター」で相談支援を行っています。

「ママ・パパこころの相談室」や市内に8カ所ある地域子育て支援センター、他にも様々な相談・サービスを実施しています。が、ネット検索でわかりづらいため、ワンクリックでサイトに到達できるよう、改善を求めました。

佐倉市子育てサイト
「さくらで子育て」



夢咲くら館污水滞留問題 その3



図書館前のバキュームカー 2025.3.5

昨年2月、地下図書館の床下にトイレの污水が760m³（学校プール2杯分）も溜まっていたことが発覚。水圧のかかる箇所に使用不可の部材を使ったことが原因で、前代未聞の事故です。床下のコンクリート調査を求めてきましたが「耐久性に影響はない」との結果が出ました。

責任は事業者がすべて負うというところで、2月議会に和解の議案が出ます。契約不適合による事業者の責任問題とは別に、入札指名停止処分の判断を速やかに行う必要があります。

損害賠償の責任期間の延長を

今回の事故は事業者の重過失によって生じたものです。事業者の責任を問える期間は法律上10年で、その後問題が発生した場合には、市が改修をしなければなりません。損害賠償責任の延長、同様の事象が発生した場合の補償についても、議会質問で求めてきましたが、検討中の答弁でした。

2月議会が正念場です。

「耕さない田んぼの会」会員募集中！

種籾の選定から種まき、田植え、稲刈、籾すり、冬期湛水と、不耕起農法の実践をしています。関心のある方、大歓迎！市民ネットまで、ご連絡ください。TEL 043-462-0618



佐倉市教育委員会 O先生過労自死裁判傍聴記

21年間中学校の理科教師として生徒たちに慕われていたO先生は、佐倉市教育委員会の指導主事5年目の2013年12月、自ら命を絶しました。葬儀には大勢の教え子たちも参列し、遺族が市教委の安全配慮義務違反を問う民事損害賠償訴訟を起こした際には「支援する会」を立ち上げ、署名活動を行ってきました。

裁判は大詰めを迎え、1月に2回証人尋問が行われ、傍聴しました。O先生は1年を通して常に一人ではこなせない業務量を担当していました。亡くなる直前の2カ月間は同僚が療養休暇に入ったため、さらに仕事量は激増しました。加えて、学校管理職と保護者のトラブル対応なども重なり、連日22時、23時まで残業。朝は7時には出勤。適切なサポートもなく、教育長からは連日パワハラを受けたことで、精神的に追い詰められました。

争点は、いかに過重な労働状況だったか。上司が部下の労務管理を行わず、サポートしなかったか。そして教育長のパワハラです。判決は5月29日。同じ悲劇が起らないよう、勝訴に向け、署名活動にご協力ください(3月末×切)。こちらから署名できます→

詳細は「伊藤とし子のひとりごと～O先生の過労自死問題民事裁判傍聴記」をご覧ください。



佐倉市2月定例議会

傍聴においでください。
本会議はインターネットでも視聴できます。
2/24(火) 開会～3/24(火) 閉会
3/2(月)～5(木) 一般質問
3/9(月)～12(木) 常任委員会
3/16(月)～19(木) 予算審査特別委員会

不用になった学生服を回収中

さくら・ネット事務所で回収し、八千代市の学生服リユースショップ「さくらや」が引き取り。きれいにした後、必要なご家庭に販売しています。購入したい方は下記まで。
TEL 090(1015)1166

介護のおしゃべりカフェ

毎月第4水曜日、13:30～15:30
介護の悩みや相談ごとなど、お茶を飲みながら、一緒に話ませんか？どなたでもお気軽にご参加ください。ネット事務所にて開催。

有機野菜販売を開催

毎月第4木曜日、10:00～12:00
市民ネットワークでは、有機農業を応援しています。農薬・化学肥料不使用の野菜を、事務所駐車場にて、地元農家が販売。